

令和5年度 大規模津波防災総合訓練への参加報告

11月11日(土)に、『津波防災の日』及び『世界津波の日』に因み、津波被害の軽減、防災知識の普及・啓発を目的として、名古屋港ガーデンふ頭会場にて『令和5年度 大規模津波防災総合訓練』が開催され、当協会も、国土交通省中部地方整備局・管内港湾管理者との災害協定団体の一員として同訓練に参加しました。



この訓練は、陸・海・空にわたる50の訓練項目を実施するものであり、管内の67機関から約1,300人が参加し、中部地方整備局だけでなく、海上保安庁や自衛隊、警察、消防等の艦船や航空機、ヘリ等も動員する大規模総合訓練です。

全ての訓練を名古屋港ガーデンふ頭及び前面海域で実施するため、会場の制約に加え、セキュリティ上の課題等により、場所的にも時間的にもコンパクトな訓練にしたいとの意向が訓練事務局(中部地方整備局)から提示されました。そのため、訓練項目によっては、

事前に用意した映像を提供する形での参加が要請され、当協会も『港湾施設被害調査訓練』の訓練映像を提供する参加方法となりました。

訓練会場では、映像紹介に合わせ、港コン協の役割として、地震後の岸壁の精細な変位データを測定し、地震応答解析により岸壁の供用可否を判定することで、緊急物資輸送等の初動対応や施設の応急復旧を支援することが説明されました。



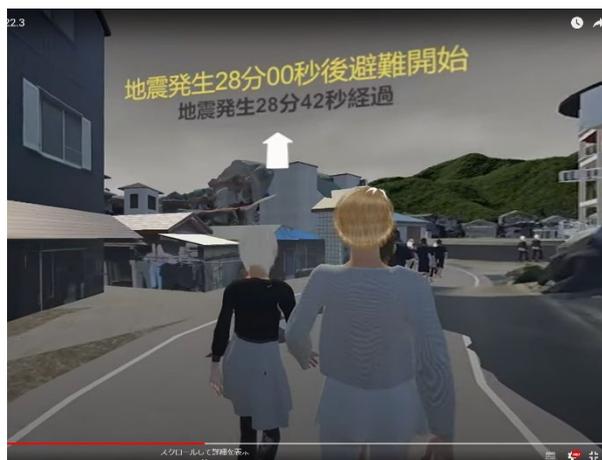
港湾施設被害調査訓練

今回の訓練には、当協会から柴木会長、中川災害対策委員長に加え、事務局長、中部担当の理事及び地方幹事が参加し、訓練エリア内で実施状況を参観しました。訓練項目の中には必ずしも事前の想定どおりに進まないものもあり、実際の大規模災害時における災害支援にあたっては、日頃からの備えとともに、関係機関の連携により被害軽減を目指すことの重要性を再確認する場面もありました。

また、訓練会場に隣接するガーデンふ頭つどいの広場では津波防災に関する展示・体験コーナーが開催され、当協会からも展示ブースを出展しました。

展示ブースでは、港コン協の紹介や地震、津波等の知識に関するパネル展示のほか、会員3社((株)エイト日本技術開発、(株)エコー及びパシフィックコンサルタンツ(株))の協力により、VR津波体験システムや3次元津波アニメーションCG等の動画を紹介しました。

当日は、つどいの広場で『あいち防災フェスタ』が同時開催されたこともあって、会場内には一般来場者も多数訪れており、展示内容を通じて防災知識の普及・啓発の貴重な機会を得られました。動画展示に協力いただいた会員各位には改めて御礼申し上げます。



VR津波体験システムより

訓練当日は、幸いに天候には恵まれましたが、肌寒く、また強い風が吹く中で、当協会が参加する海上訓練を始め、上空、陸上の各訓練を含めて滞りなく実施されました。港コン協では、今回の訓練で得られた経験を活かし、引き続き実効性のある災害支援を実施できるように取り組みを進めてまいります。

(文責：中部担当地方幹事 西子恵市)